

# 学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

週1~2回更新中。  
ぜひご覧下さい。



令和5年2月1日

文責 内海忠裕

## 春の準備をしよう

- ◆ 2月4日は立春です。立春とは「春の始まり」を意味します。東風が吹いて氷が解けはじめ、地中に冬ごもりした虫は動きはじめ、水中に休止していた魚は氷を出てくる時期の意味とされています。自然界でも、暖かな春に向けてそろりそろりと動き始めるそんな季節です。令和4年度を終える子どもたちにとっても、次のステージに向けて動き出しています。
- ◆ 先日5年生6~7人が突然校長室にやって来ました。  
「校長先生にお願いがあります。全校生で6年生を送る会をしてもいいですか？」  
そのあまりにも真剣な姿に「わかりました。みんなの力で素敵な会にしてください。」とOKを出しました（感染対策は徹底します。コロナが流行り出したらまた考えましよう伝えていきます。）。
- ◆ この児童会行事は、当日うまく成功することのみを目指していません。当日までの過程を大切にしています。子どもたちが主体的にアイデアを出したり、意見が合わない時はとことん話し合って合意形成したりすることに意味があります。また、みんなの前でリーダーとしてふるまうだけでなく、みんなのために自分がどう支えればよいか考えて動くなどフォロワーとしての意義を見出すことも不可欠です。6年生を含め、5年生以下の子どもたちがこうした考えや態度、価値を、当日までの過程で気づき、互いに励まし、感謝し合う。そんな意義ある「6年生を送る会」になってくれればと願っています。教員が引っ張って、徹底して指導し、美しく整えることはたやすいことです。しかしそれでは子どもたちに喜びも達成感も残りません。当日までの過程に現れたこの非認知能力をほめて意味づけ、子どもたちが伸びるチャンスになることを期待しています。
- ◆ 6年生は、中学校に向けて、動き出しています。卒業を前に、6年生は「自分との対話」を大切にしています。卒業までの1日1日をどう過ごすか。お世話になった人への感謝の気持ちはどう伝えるのか。そんなことを毎日考えて言葉や態度に表し、行動することが、さらなる成長につながります。ご家庭でも、お子様とたくさん話し、たっぷり向き合ってください。最も信頼している保護者の言葉は、子どもに大きな自信と希望を与えます。



送る会の準備をする5年生

### ～除雪、ありがとうございます～

大雪になり、通学路や集合場所等の除雪、ありがとうございます。保護者、地域の皆様のおかげで、安全に登下校できています。

学校でも、雪道の安全な登下校について引き続き指導していきます。今後ともどうぞよろしく願います。

# 学校のあれこれ紹介

## クラブ活動見学 1/23月

～自分たちの「やってみたい」を実現しよう～

◇4年生以上で構成し、自主的な活動をしているクラブ活動。来年からその仲間入りする3年生が見学しました。6年生から説明を受けたり、プレゼンを聴いたりしながら、期待を膨らませていました。



## ようこそ先輩 1/24火

～先輩から学び取ろう～

◇出石中校区小中一貫教育の取組として、中学校への不安を減らし、期待や楽しみを醸成する「ようこそ先輩」が行われました。生徒会の生徒からは、学校生活、学習やテスト、部活動などについて詳しく説明を受けました。質問コーナーでは、6年生の関心ある質問が飛び出し、和やかな雰囲気の中で中学校生活をイメージしていました。



## スキー教室 1/26木

～自然の中で楽しもう～

◇5・6年生はスキー教室に行きました。前日からの大雪で、何とか実施でき、子どもたちは大はしゃぎでした。ほとんどの子どもが初めてでしたが、インストラクターの方の指導をよく聞き、上達していました。冬の大自然の中での体験は、スキーの上達に加え、子どもたちのストレス軽減と心の安定につながるものと期待しています。



## いのちの日 毎月15日前後

～自分と仲間の命を守ろう～

◇10月から、毎月15日の安全の日前後に、各学年で「いのちの日」として、自分や他者の命を守る学習を始めました。例えば、「体育館にいるとき、地震から身を守る方法を考えよう」「大雪の時に、危険なことはどんなことだろう」「安全な登下校のために、どんなことに気を付ければよいかな」「非常持ち出し袋に入れるものを5つ考えよう」などです。身近で、具体的な場面を想定して、毎月「自分で考える」ことを意識した授業が行われています。



※写真は引き渡し訓練の様子（10月）